

AIコンサルタント リファレンスガイド

日常業務を自動化するAIエージェントを設計・提案するための実践スキル

1. 自動化の匂いを嗅ぎ分ける5つのサイン

クライアント業務をヒアリングするとき、最初にこの5つのサインを探す。ひとつでも該当すれば自動化候補。複数該当すれば優先案件。現場の「面倒」「ミスが多い」「属人化している」という言葉は、ほぼすべてこの5つに分類できる。

自動化候補を見抜く5つのサイン

名	特徴	具体例	自動化パターン
し作業	週次・月次で同じ手順を人が実行	毎週月曜に競合価格をサイトから転記	スクレイピング+スプレッドシート自
通りの判断	条件分岐が文書化されており例外が少ない	問い合わせメールを内容別に担当者へ振り分け	LLM分類+メール自動転送
変換	形式の違うデータを人が手で整形	PDF請求書をExcel台帳に転記	OCR+LLM構造化抽出
作業	複数システム間で同じ値を何度も入力	Salesforce商談をNotionの案件一覧に複製	APIまたはZapier/Make連携
間	承認・返信・確認の滞留で業務が止まる	稟議書の上司レビュー待ちが平均3日	Slack通知自動化+ドラフト自動生成

2. ヒアリング質問テンプレート(5S)

初回ヒアリングは5Sフレームワークで漏れなく押さえる。Scope(範囲)、Source(入力)、Scenario(処理)、Success(成功定義)、Sample(具体例)。この順で聞けば、提案書に必要な情報が1時間で揃う。

5S ヒアリング質問集

観点	具体的な質問例
対象業務の境界と関係者	この業務は誰が何人で、週に何時間使っていますか / どこから始めてどこで終わる作業ですか / 対象外にしたい業務はありますか
データの発生源と形式	入力データはどこから来ますか(メール/PDF/API) / 1日あたりの件数はどれくらいですか / 機密情報や個人情報は含まれますか
処理ロジックと例外パターン	判断基準はマニュアル化されていますか / 例外はどれくらいの頻度で発生しますか / 現状で最も時間がかかる工程はどれですか
KPIと合格ライン	自動化成功の定義は何ですか(時間削減/品質向上/件数増) / 精度は何%あれば許容できますか / 人の最終確認は残りますか
実データと参照ケース	直近1週間の実データを3件見せていただけますか / 理想の出力サンプルはありますか / 類似業務で既に自動化済みはありますか

3. AIツール選定早見表

ユースケースごとに最短で成果が出るツールを選ぶ。単一ツールで済む場合はそれを優先し、複雑な連携が必要な場合のみワークフロー系(n8n/Make/Zapier)を組み合わせる。コスト感は月額目安(小規模導入時)。

ユースケース別 推奨ツール早見表

ユースケース	推奨ツール	理由	所要時間	コスト感
話型Q&A・社内ヘルプデスク	ChatGPT / Claude	標準UIが整っており非エンジニアでも導入可	即日	月2,000～3,000円/人
文ドキュメント生成・要約	Claude	コンテキストウィンドウが長く日本語品質が高い	即日	月3,000円/人
ワークフロー自動化・ドラフト生成	Zapier + ChatGPT	Gmail連携が標準で設定が容易	半日	月2,000～5,000円
PDF/画像からのデータ抽出	Dify + Claude	RAGとOCRを組み合わせやすい	2～3日	月5,000～10,000円
レポート自動生成	n8n + LLM API	スケジュール実行と加工処理が柔軟	3～5日	月3,000～8,000円
複数SaaS間のワークフロー統合	Make / Zapier	ノーコードで200以上のアプリ連携	1～3日	月3,000～15,000円
画像生成・バナー制作	ChatGPT (DALL-E) / Midjourney	ブランド統一はMidjourney、即応性はChatGPT	即日	月3,000～5,000円
言語翻訳・ローカライズ	Claude / DeepL + LLM	長文のニュアンス翻訳はLLMが優位	即日	月2,000～5,000円
議事録・文字起こし	Notion AI / tl;dv	録音から要約まで一気通貫	即日	月2,000～4,000円/人
自律型エージェント構築	Dify / LangChain	ツール呼び出しとメモリを組める	1～2週間	月10,000円～
CRM入力自動化	Make + CRM API	双方向同期とエラー処理が容易	3～5日	月5,000～10,000円
社内ナレッジ検索(RAG)	Dify / Notion AI	ドキュメント取り込みとアクセス権管理	1週間	月10,000～30,000円

4. ROI計算式と優先順位マトリクス

提案の説得力はROIの定量化で決まる。年間削減時間と時給から効果額を算出し、導入コストと運用コストを差し引く。投資回収期間は12ヶ月以内を目安にする。優先順位は頻度×工数のマトリクスで可視化

【ROI計算式】

$$\text{ROI(\%)} = (\text{年間効果額} - \text{年間コスト}) / \text{年間コスト} \times 100$$

【年間効果額】

$$\text{年間効果額} = \text{年間削減時間} \times 12\text{ヶ月} \times \text{担当者時給}$$

【投資回収期間】

$$\text{回収期間(月)} = \text{初期導入コスト} / (\text{年間効果額} - \text{年間運用コスト})$$

【年間削減時間】

$$\text{年間削減時間} = \text{1件あたり削減分} \times \text{年間処理件数} / 60$$

【計算例】

$$\text{月50件} \times \text{30分削減} = \text{月1,500分} = \text{25時間}$$

$$\text{25時間} \times \text{時給5,000円} = \text{月12.5万円の効果}$$

$$\text{初期30万円} + \text{月額2万円} \quad \text{回収期間} = 30 / (12.5 - 2) = 2.9\text{ヶ月}$$

優先順位マトリクス(頻度×工数)

工数 / 頻度	頻度:高(毎日)	頻度:中(週次)	頻度:低(月次)
工数:高(1件30分～)	最優先 / PoC即着手	優先 / 2番手で着手	中 / 効果額で判断

工数 / 頻度	頻度:高(毎日)	頻度:中(週次)	頻度:低(月次)
工数:中(1件10 ~ 30分)	優先 / 早期着手	中 / 四半期内着手	低 / 他案件と比較
工数:低(1件 ~ 10分)	中 / 件数次第で着手	低 / 統合時に着手	対象外 / 手動継続

5. ワークフロー設計の5原則

設計段階で守るべき5つの原則。守らないと本番運用でほぼ必ず事故が起きる。特に3(人間確認ゲート)と5(ログ化)は監査対応で必須。

- 1. 小さく始める(Start Small): 最初は1業務・1担当者・1入力源に限定し、2週間以内にPoCを回す。範囲を広げるのは成功事例が1つできてから。
- 2. 決定的処理とAI処理を分ける(Separate Deterministic): 日付計算や金額集計など厳密性が必要な箇所はコードやExcel関数に任せ、AIは分類・生成・要約など曖昧さを許す領域に限定する。
- 3. 人間確認ゲートを必ず置く(Human-in-the-Loop): 金額・外部送信・法的影響のある出力には必ず人の承認ステップを挟む。精度95%でも20件に1件の誤りは致命的になり得る。
- 4. 例外処理を先に設計する(Fail Gracefully): 入力欠損・API障害・ハルシネーション発生時のフォールバック(再試行/通知/手動キュー)を最初に決める。正常系より先に異常系。
- 5. すべての入出力をログ化する(Log Everything): プロンプト・モデル応答・最終出力・所要時間を保存する。改善サイクルと監査対応の両方で必須。最低90日保持。

6. セキュリティ・コンプライアンスチェックリスト

導入前に必ず通すチェック項目。該当する項目はすべて「対応済み」にしてから本番稼働する。日本企業ではAPPI(個人情報保護法)対応が必須、海外取引があればGDPRも確認する。

- 個人情報(氏名/住所/電話/メール)をLLMに送る必要があるか再検討し、不要なら事前マスキングする
- 機密情報(売上/顧客名/未公開情報)を扱う場合はエンタープライズ契約または自社ホスティングを選定する
- APPI対応: 取得した個人データのAI利用について利用目的を明示し、同意を取得する
- 海外サーバー送信の有無を確認し、該当する場合は越境データ移転の同意条項を整備する
- プロンプトインジェクション対策:
ユーザー入力と指示を構造的に分離し、想定外出力時のフィルタを設ける
- ハルシネーション対策:
事実性が重要な出力は根拠ソースを必須とし(RAG+引用)、人間レビューを義務化する
- ログ管理: プロンプト・応答・実行者を90日以上保持し、アクセス権を管理者に限定する
- アクセス権: 役割別(管理者/一般利用者/閲覧のみ)で権限を分け、退職者の即時失効フローを定める

- [] データ保持ポリシー: ベンダー側での学習利用オプトアウト設定と、削除依頼フローを文書化する
- [] ベンダー選定: SOC2/ISO27001の取得状況・SLA・データ居住地を契約前に確認する
- [] インシデント対応:
誤出力・情報漏洩発生時の通報経路・初動対応・関係者への連絡テンプレートを準備する
- [] 定期監査: 四半期に一度、ログサンプリングと権限棚卸しを実施する

7. 提案書の標準構成(10項目)

クライアント提案書は以下10項目で構成する。1項目1スライドを目安に、全体で15~20ページに収める。現状課題(3番)と費用対効果(7番)に全体の30%の紙面を割くのが黄金比。

1. 表紙: 案件名・クライアント名・提案日・提案者 / 守秘義務の扱いを明記
2. エグゼクティブサマリー: 課題・提案・効果を3行で要約 / 意思決定者が5秒で把握できる粒度
3. 現状課題の可視化: ヒアリング結果に基づく業務フロー図と所要時間 / 数字で痛みを示す
4. 提案サマリー: 解決策の全体像とスコープ境界 / 「やること」と「やらないこと」を明示
5. ワークフロー図(Before/After): 現状フローと自動化後フローを並べて差分を可視化
6. ツール構成と役割: 使用するAI/SaaSと各々の責任範囲 / データフロー図を含む
7. 費用対効果(ROI): 初期費用・月額運用費・年間削減額・回収期間 / 前述の計算式で算出
8. 導入スケジュール: PoC(2週間) 本番構築(1~2ヶ月) 安定化(1ヶ月)のガントチャート
9. KPIと測定方法: 成功指標・計測頻度・レビュー体制 / 定量3つ + 定性1つ を目安に
10. 次のアクション: 意思決定事項・必要な承認・初回ミーティング候補日 / 決裁を促す具体提案で締める

8. 用語集(Glossary)

クライアントとの会話で頻出する20用語。ミーティング中にこの表を手元に置いておけば、専門用語で詰まることはない。

AIコンサルティング必携用語20

	読み方/英字	定義
エージェント	AI Agent	目的を与えると自律的にツールを使い分けタスクを遂行するAIプログラム。
プロンプトエンジニアリング	Prompt Engineering	LLMから望む出力を引き出すための指示文を設計・改善する技術領域。
ワークフロー	Workflow	複数のステップや判断を組み合わせた業務処理の流れ。自動化対象の単位。
ハルシネーション	Hallucination	AIが事実でない内容をもっともらしく生成する現象。精度ではなく嘘として扱う。

	読み方 / 英字	定義
ファインチューニング	Fine-tuning	既存の大規模モデルに追加学習を施し特定用途に適応させる手法。
埋め込み	Embedding	文章や画像を数値ベクトルに変換し意味的類似度を計算可能にする表現。
	Retrieval-Augmented Generation	社内文書を検索しその内容を根拠にLLMが回答する方式。ハルシネーション抑制に有効。
	Large Language Model	大量のテキストで学習した大規模言語モデル。ChatGPTやClaudeの中核。
マルチモーダル	Multimodal	テキスト・画像・音声・動画など複数種類の入出力を扱えるAIの特性。
トークン	Token	LLMが扱う最小単位。日本語は概ね1文字=1~2トークン。課金とコスト算出の基準。
コンテキストウィンドウ	Context Window	LLMが一度に扱えるトークン数の上限。長いほど大量資料を処理できる。
エージェントオーケストレーション	Agent Orchestration	複数のAIエージェントを協調させ役割分担でタスクを解かせる設計思想。
	Proof of Concept	実現可能性を小規模に検証するフェーズ。通常2~4週間で結論を出す。
	Return on Investment	投資に対する利益の比率。AI導入提案では数値化が必須。
	Key Performance Indicator	目標達成度を測る定量指標。自動化では削減時間・精度・件数が中心。
バイアス	Bias	学習データの偏りにより出力が特定属性に不公平になる現象。監査対象。
	Application Programming Interface	ソフトウェア同士が連携するための接続口。SaaS統合の基礎。
ノーコード/ローコード	No-code / Low-code	コードをほぼ書かずに業務システムを構築できるツール群。Zapier/Makeなど。
プロンプトインジェクション	Prompt Injection	悪意あるユーザー入力でのAIの指示を上書きし不正出力を引き出す攻撃手法。
	個人情報保護法	日本の個人情報保護に関する法律。AI利用時の同意取得と越境移転が論点。